文化財保護課

平成８年度

市内遺跡発掘調査報告書

１９９７．３

前橋市教育委員会

例　　言

1．本報告書は、平成８年度に埋蔵文化財の確認調査を実施した「市内遺跡発掘調査」事業の概要をまとめたものである。

2．本事業にかかわる経費は、平成８年度文化財関係国庫補助事業として、国庫補助・県費補助及び市費により計上された。

3．確認調査は、前橋市教育委員会文化財保護課で実施し、埋蔵文化財係で担当した。

文化財保護課長　川合　功

埋蔵文化財係長　駒倉秀一

調 査 従 事 者　主査　園部守央　主任　井野誠一・飯塚　誠

専門作業員　飯島勝亥

4．確認調査にかかわる記録類、出土遺物は前橋市教育委員会文化財保護課で保管している。

目　　次

例　　言

目　　次

1．確認調査地一覧表 …… 1

2．確認調査地位置図 …… 2

3．平成８年度確認調査の概要 …… 2

4．確認調査結果の概要 …… 3

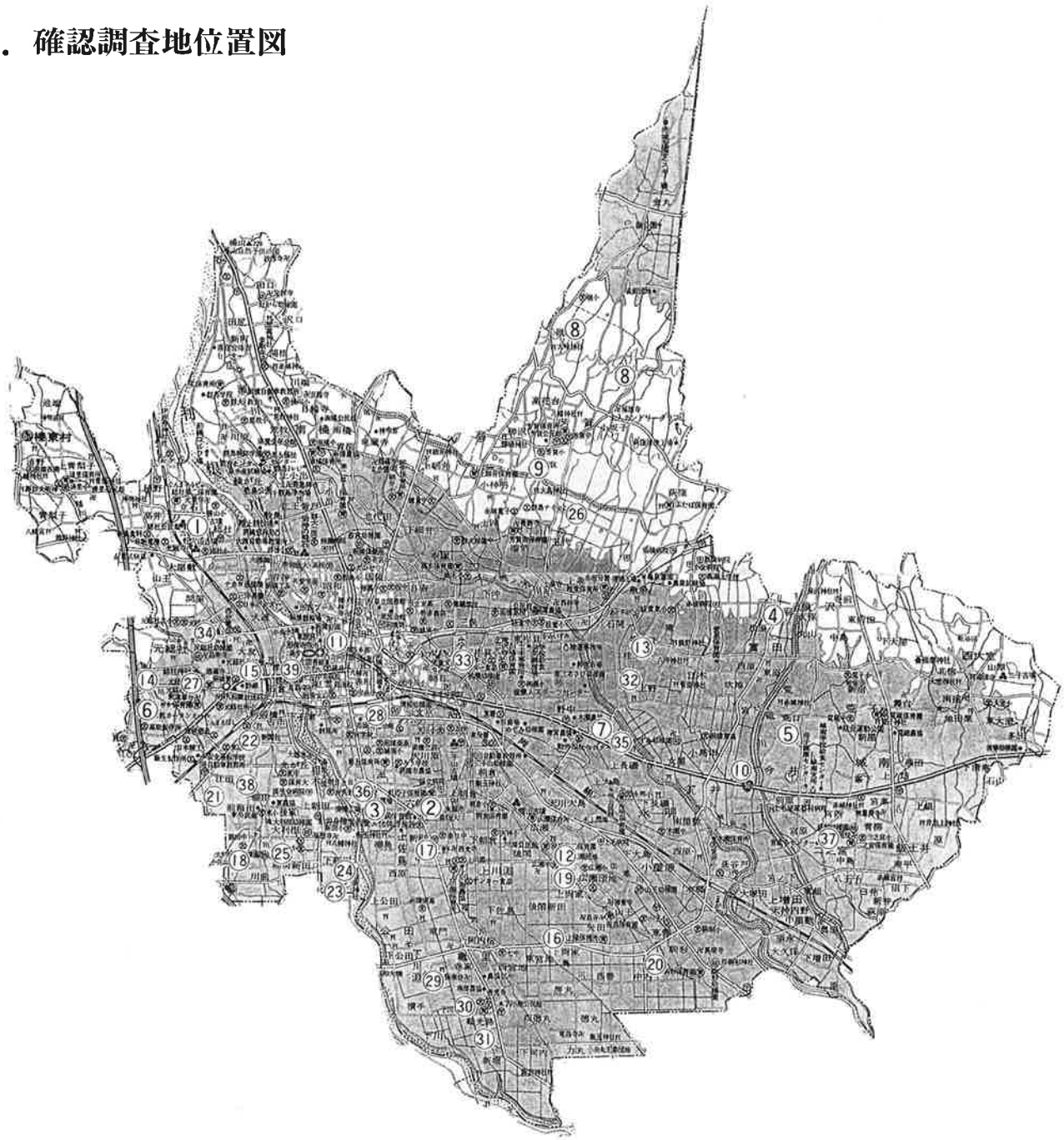
写真図版 …… 17

1．確認調査地一覧表

〔No.は申請順〕

No.	所在地	開発面積㎡	開発原因	調査日	試掘調査結果の概要
1	総社町総社1,676-1他	990	店舗兼事務所	8・ 4・11	時期不明の溝跡検出。
2	六供町地内	2,503	区画整理事業	8・ 4・18	水田跡・住居跡検出。六供下堂木Ⅱ遺跡。
3	栅島町10-1，11-3	2,701	事務所等建築	8・ 4・23	アゼは検出されなかったが水田跡の可能性あり。
4	富田町地内	6,877	県央第２受水場建設	8・ 4・25	古墳・住居跡検出。富田稲荷前遺跡。
5	荒口町559-1他	3,271	宅地造成	8・ 5・21	遺構・遺物ともに検出されず。
6	鳥羽町151-3	1,633	宅地造成	8・ 6・ 3	低湿地で、遺構・遺物ともに検出されず。
7	上長磯町282-1	1,568	店舗建築	8・ 6・28	土地改良事業の際に削平を受ける。
8	嶺町・小坂子町地内	4,200	ふるさと農道建設	8・ 7・30,31	古墳検出。小坂子油田遺跡。
9	鳥取町地内	160,000	土地改良事業	8・ 8・ 7，8	縄文～平安時代住居跡検出。鳥取地区遺跡群。
10	今井町123-1，124-1	3,003	工事建築	8・ 8・ 9	荒砥川旧流路の左岸を確認。
11	大手町三丁目甲40-1他	1,174.2	群馬県産業会館建設	8・ 8・13	戦災復興の際に削平・攪乱を受ける。
12	広瀬町三丁目20他	500	市営住宅建設	8・ 9・ 5	旧上川淵村108号古墳（鶴巻山古墳）確認。
13	堀之下町231-1•4	3,410	ガソリンスタンド	8・ 8・30	時期不明の溝跡検出。
14	鳥羽町697-1他	4,429.47	宅地造成	8・ 9・11	区画整理事業の際に削平を受ける。
15	大友町一丁目13-4•5	1,297.98	教会建築	8・ 9・11	低湿地で、遺構・遺物ともに検出されず。
16	西善町610-1	3,627	農産物加工工場建築	8・ 9・13	低湿地で、遺構・遺物ともに検出されず。
17	上佐鳥町773-1•2,774	6,297	特別養護老人ホーム	8・ 9・13	平安時代水田跡検出。上佐鳥中原前遺跡。
18	箱田町地内	4,264.4	宅地造成	8・ 9・19	低湿地で、遺構・遺物ともに検出されず。
19	広瀬町三丁目37-41	400	市営住宅建設	8・10・11	団地造成工事の際に削平を受ける。
20	東善町地内	649	道路建設	8・10・11	住居跡検出。前田遺跡群の一部。
21	江田町字村前19	1,828	アパート建築	8・11・19	耕作に伴い削平を受ける。
22	古市町307-12他	1,832	宅地造成	8・11・19	低湿地で遺構・遺物ともに検出されず。
23	下新田町311-1他	3,843.35	宅地造成	8・11・20	平安時代水田跡検出。
24	下新田町627-1他	1,626	宅地造成	8・11・20	時期不明畠跡検出。部分的に残存。
25	箱田町1,265他	1,691	宅地造成	8・11・22	平安時代水田跡検出。部分的に残存。
26	五代町1,301-3	2,919	保育園建築	8・11・26	住居跡検出。五代桧峰遺跡の一部。
27	元総社町100-13他	1,707.90	店舗建築	8・11・27	道路工事の際に土採りが行なわれる。
28	南町三丁目35-3他	2,376.49	事務所建築	8・12・ 2	掘削して石炭の燃えカスを埋めている。
29	亀里町540	330	消防団詰所建築	8・12・19	土地改良事業により削平を受ける。
30	鶴光路町59-3他	7,062	下川淵公民館建築	8・12・26	平安時代水田跡検出。鶴光路練引遺跡。
31	鶴光路町368-3,369-1	1,658	事務所建築	9・ 1・23	平安時代水田跡検出。部分的に残存。
32	東上野町457-3他	10,000.00	市立養護学校建設	9・ 1・30,31	桃木川の氾濫原、荒れた後背湿地。
33	西片貝町五丁目28-5他	2,531.66	事務所・倉庫建築	9・ 2・ 5	近世のころまでは広瀬川の氾濫原。
34	問屋町10-2他	953.22	事務所建築	9・ 3・ 3	問屋団地造成時に削平を受ける。
35	上長磯町304-1	2,959.00	ドライブイン建築	9・ 2・21	桃木川の氾濫原。
36	六供町地内	7,950.00	区画整理事業	9・ 3・ 6	古墳～平安時代住居跡検出。
37	二之宮町1810-1	2,431.00	保育園建築	9・ 3・ 7	砂壌土地。改葬された墓地の跡。
38	箱田町1590他	1,800.00	道路改良事業	9・ 3・18	遺構・遺物ともに検出されず。
39	大手町125-1	425.75	駐車場造成	9・ 3・26	戦災復興・建物解体に伴い削平を受ける。

2．確認調査地位置図



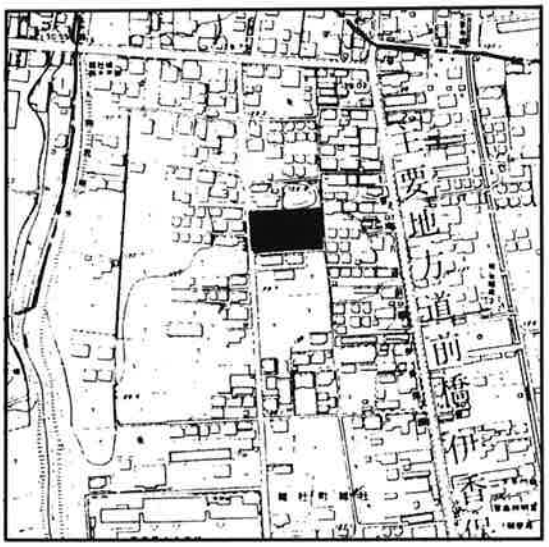
3．平成８年度確認調査の概要

本年度は、39件の「埋蔵文化財確認調査依頼」が提出されたため、「市内遺跡調査事業」として確認調査を実施した。

前橋市は、地形区分の上では、「前橋・高崎台地」、「広瀬川低地帯」、「赤城山南麓斜面」におおまかに分かれるが、本年度は「前橋・高崎台地」部分における調査件数が多かった。すでに土地改良事業が実施された地域等でも遺跡が確認される場合が多くなってきたので、開発予定地については積極的に確認調査を行なった。

周知の遺跡を含めて13箇所で遺跡が確認されたが、現状保存が困難なために、本年度中に５箇所で記録保存のための発掘調査が行なわれた。すでに、来年度に発掘調査が予定されているものが５箇所あり、現状保存が難しくなっている。

4．確認調査の概要



1　総社町総社1-676-1他

990.00㎡　店舗兼事務所建築
平成８年４月11日
調査の状況

本開発予定地は、地形区分の上では「前橋・高崎台地」に属しており、周辺には古墳が多く所在するため、今回の試掘調査を実施しました。

その結果、地表から約１ｍ下部まで攪乱を受けており、その下部から幅約35cmの溝跡が確認されました。出土遺物が無いために所属時期は不明ですが、水の流れた痕跡が認められました。地表面から約180cm下部で基盤層に達しましたが、遺物は出土せず他の遺構も検出されませんでした。

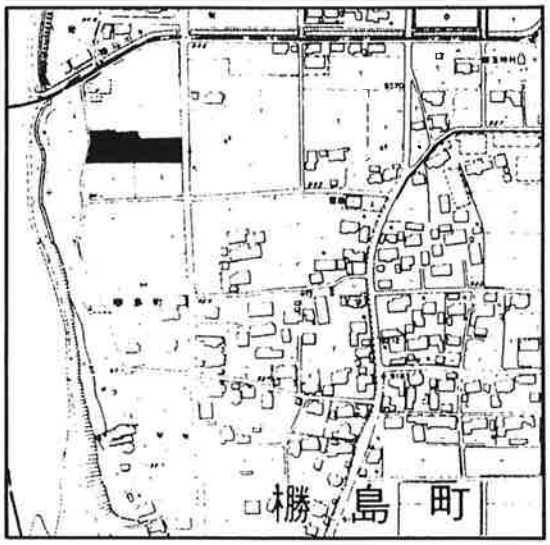
2　六供町地内

2,503.00㎡　区画整理事業
平成８年４月18日
調査の状況

本開発予定地は、平成８年３月に平安時代の住居跡と水田跡が確認された「六供下堂木遺跡」に隣接しており、条里水田の存在が考えられるため、今回の試掘調査を実施しました。

その結果、古墳時代と平安時代の水田跡が検出され、奈良・平安時代の土器片も出土した。水田跡については、さらに南側にも広がっているものとみられる。

事業の性格上、現状保存が困難であるとのことで、記録保存実施の方向で協議を行ないました。（平成８年度に発掘調査を実施）



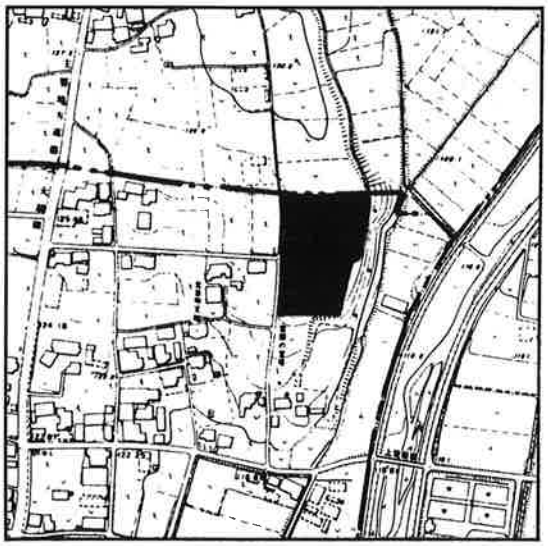
3　栅島町10-1他

2,701.00㎡　事務所等建築
平成８年４月23日
調査の状況

本開発予定地は、県道前橋・長瀞線の建設に伴う「栅島川端遺跡」の埋蔵文化財の発掘調査で多くの遺構が検出されている付近に所在するため、今回の試掘調査を実施しました。

その結果、地表面から130cmほど下部に、水田の耕作土と考えられる土壌が検出されました。水田を区画する明確なアゼは認められませんでしたが、土器片も出土しました。部分的に深掘りを行なった部分では、さらに30cmほど下部にも水田の耕作土と思われる土壌が観察されました。試掘調査部分については緊急的な記録を作成し、他の部分については現状保存をお願いした。

4　富田町地内



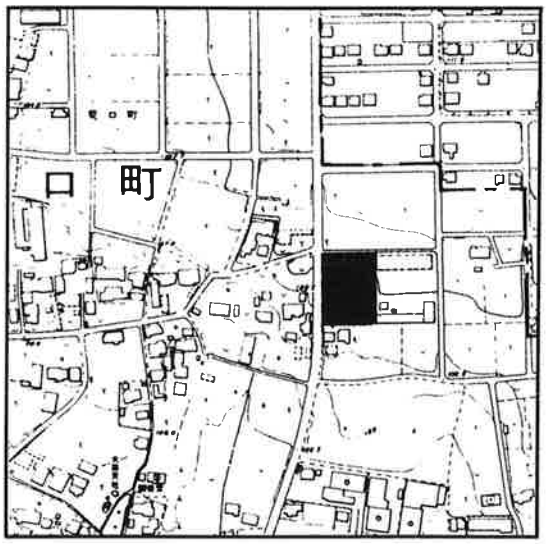
6,877.00㎡　県央第２受水場建設
平成８年４月25日
調査の状況

本開発予定地は、赤城山南麓の台地上に位置しており、縄文土器などの散布が見られたため、今回の試掘調査を実施しました。

その結果、縄文時代の土坑および古墳時代の遺構の存在が確認されました。周辺に石材が集積されている箇所があり、古墳を削平した可能性も考えられる。字名は「稲荷前」（いなりまえ）で、南半分は削平を受けていた。なお、付近に荒砥村355号墳が現存している。

事業の性格上、現状保存が困難であるとのことで、記録保存実施の方向で協議を行ないました。（平成８年度に発掘調査を実施）

5　荒口町559-1他

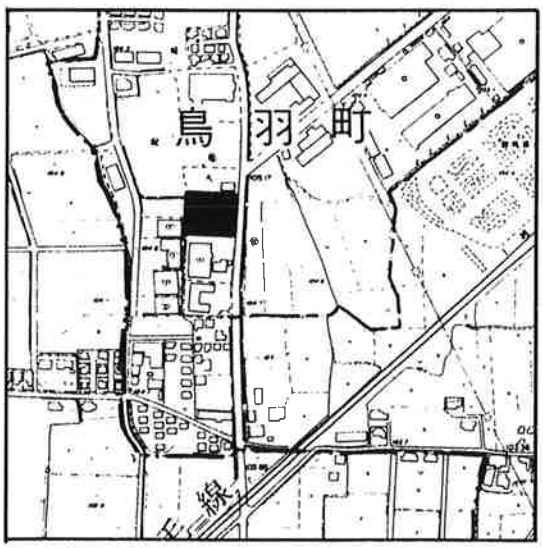


3,271.00㎡　宅地造成
平成８年５月21日
調査の状況

本開発予定地は、赤城山南麓の台地上に位置しており、昭和59～62年度に発掘調査が行なわれた「柳久保遺跡群」の南西部に隣接するため、今回の試掘調査を実施しました。

その結果、地表面から約30cmでローム層の上面に達しましたが、遺構・遺物は発見されませんでした。このため、本開発予定地については遺跡の範囲を外れていると判断しました。

6　鳥羽町151-3

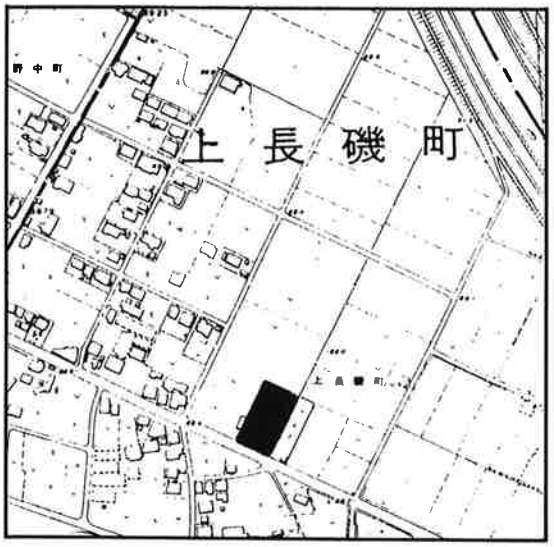


1,633.00㎡　宅地造成
平成８年６月３日
調査の状況

本開発予定地は、地形区分の上では「前橋・高崎台地」に属しており、昭和61年に発掘調査が行なわれた「勝呂遺跡」が付近に所在するため、今回の試掘調査を実施しました。

その結果、約85cmの盛り土がなされており、地表面から約１ｍ下部で、浅間山が平安時代に噴火した時の火山灰が確認されましたが、水田を区画するアゼは検出されませんでした。さらに、下部に堆積する土壌が、低湿地の状況を示していたため、本開発予定地に遺跡は存在しないと判断しました。

7　上長磯町282-1

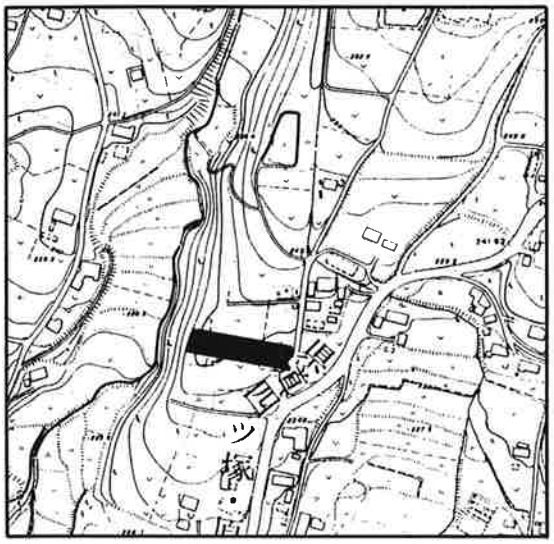


1,568.00㎡　　店舗建築
平成８年６月28日
調査の状況

本開発予定地は、地形区分の上では「広瀬川低地帯」に属していますが、南側を走る国道50号の拡幅に伴う発掘調査で多くの遺構が発見されているため、今回の試掘調査を実施しました。

その結果、地表面の約30㎝下から、土地改良事業の前の耕作に使われたと考えられる溝跡が発見されましたが、他の遺構は検出されませんでした。さらに、遺物も出土しなかったことから、本開発予定地は遺跡地とは認められませんでした。

8　嶺町・小坂子町地内

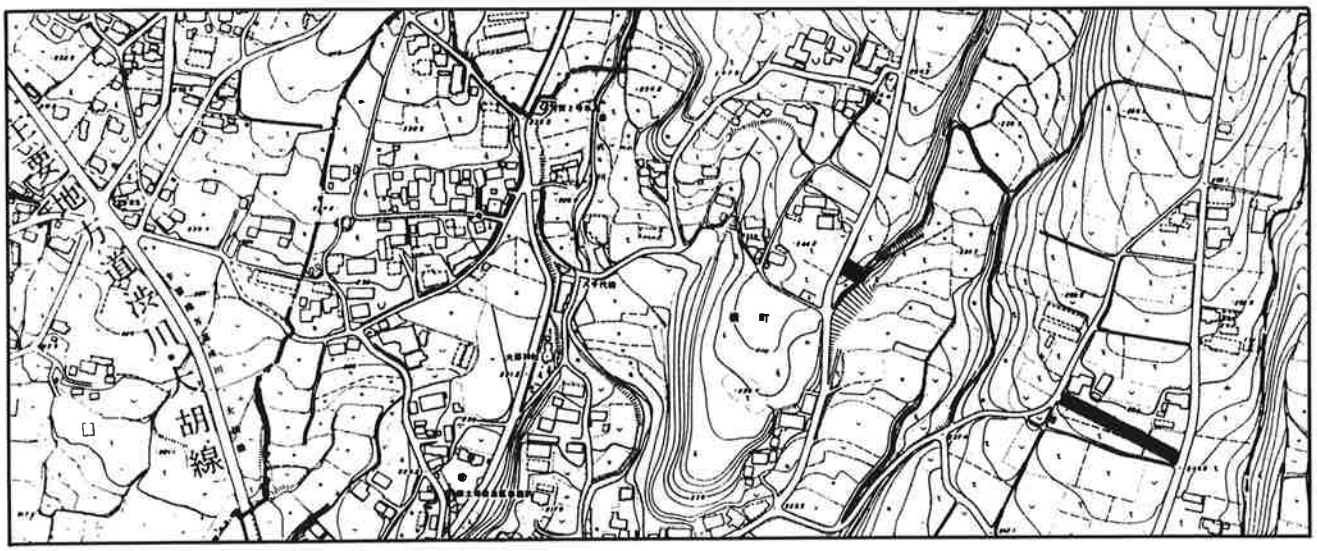


4,200.00㎡　　ふるさと農道建設
平成８年７月30・31日
調査の状況

本開発予定地は、平成６年度に分布調査を実施したところ、遺物の散布が見られ、遺跡の存在する可能性が考えられたため、今回の試掘調査を実施しました。

その結果、嶺町の地区は、土地改良事業などにより削平を受けており、遺物は出土しましたが遺構は確認されませんでした。また、谷間の沖積地でも水田跡を確認することはできませんでした。小坂子地区も削平を受けていましたが、芳賀村39～42号墳の所在地に該当しており、破壊された石室が確認され、縄文土器および石器の散布も見られました。

事業の性格上、現状保存が困難であるとのことで、記録保存実施の方向で協議を行ないました。（平成８年度に発掘調査を実施）



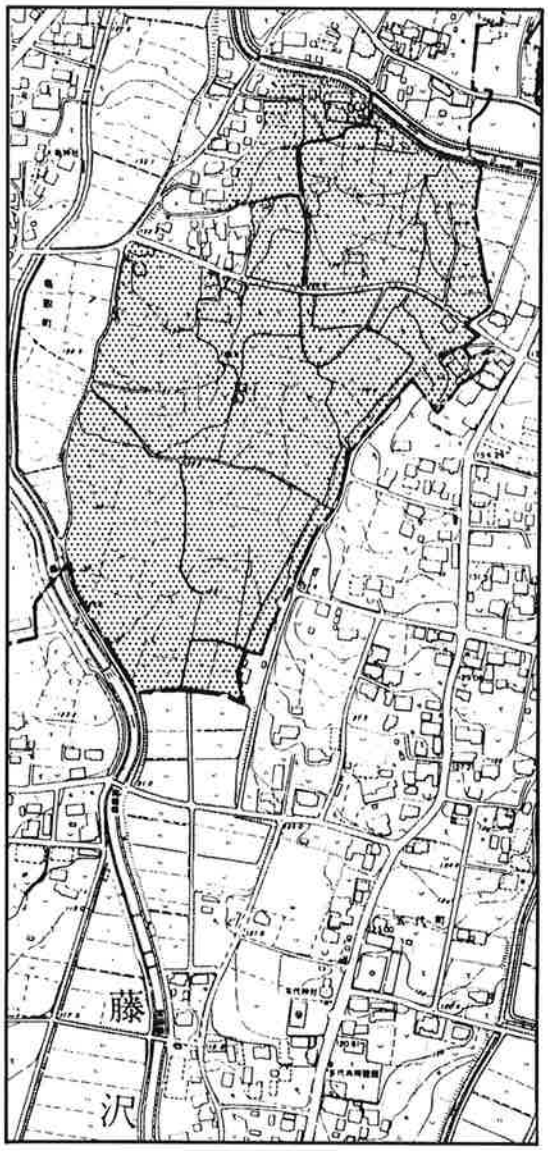
9　鳥取町地内

160,000㎡　　土地改良事業
平成８年８月７・８日
調査の状況

本開発予定地は、赤城山南麓の台地上に位置しており、芳賀団地遺跡群の南側にあります。分布調査の結果では、ほぼ全域に遺物の散布が見られたため、今回の試掘調査を実施しました。

その結果、南東部の現在の水田地域を除き、ほぼ全域から縄文時代～平安時代の住居跡が検出されました。

事業の性格上、現状保存が困難であるとのことで、記録保存実施の方向で協議を行ないました。（平成９年度以降に発掘調査実施予定）

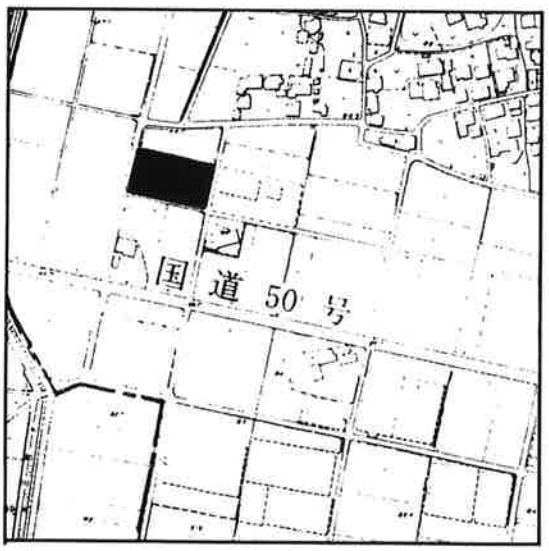


10　今井町123-1,124-1

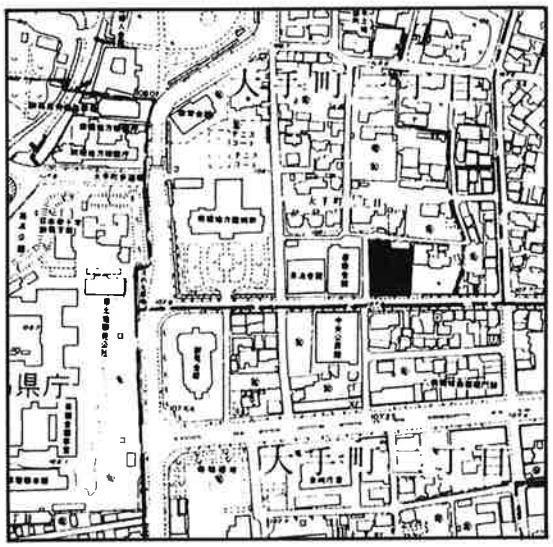
3,003.00㎡　　工場建築
平成８年８月９日
調査の状況

本開発予定地は、地形区分の上では「広瀬川低地帯」に属していますが、南側を走る国道50号の拡幅に伴う発掘調査で多くの遺構が発見されているため、今回の試掘調査を実施しました。

その結果、土地改良事業の際の削平が基礎層まで及んでおり遺構は発見されませんでした。しかし、荒砥川の旧河道の左岸と思われる部分を確認することができました。遺物が出土しなかったために所属時期は分かりませんでした。



11　大手町三丁目甲40-4他

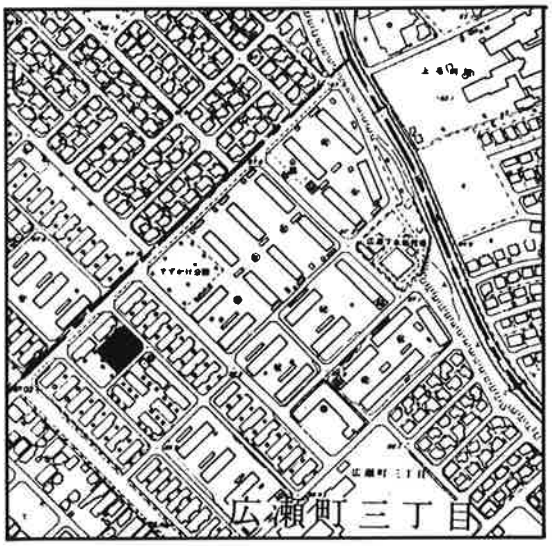


1,174.20㎡　　群馬県産業会館建設
平成８年８月13日
調査の状況

本開発予定地は、前橋城域内に位置しており、西側に隣接する裁判所内では「前橋城三ノ丸遺跡」の発掘調査が行なわれています。武家屋敷の所在地に該当するため、今回の試掘調査を実施しました。

その結果、戦災復興時点での整地層と考えられる部分から陶磁器片や木材の破片が出土したが、遺構は検出されませんでした。建物が立ち並んでいた地区のため、解体した建物の基礎部分なども確認されましたが、前橋城関係の遺構は掘削により失われたものと考えられます。

12　広瀬町三丁目20他



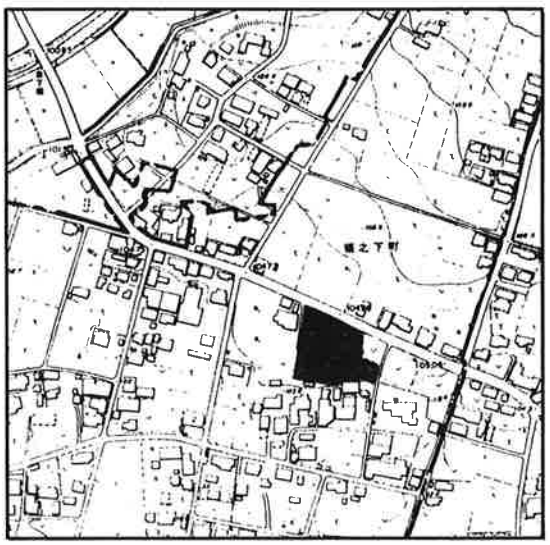
500.00㎡　　市営住宅建設
平成８年９月５日
調査の状況

本開発予定地は、すでに広瀬団地造成時に整地されていますが、広瀬古墳群の中にあり、鶴巻山古墳（上川淵村108号墳）の想定所在地に該当するため、今回の試掘調査を実施しました。

公園として利用されている部分に試掘トレンチを設定して調査を行ないました。その結果、覆土の上部に浅間山が平安時代に噴火した時の火山灰が堆積した堀が検出されました。堀が屈曲していることから、前方後円墳である可能性が考えられます。

保存方法について協議中。

13　堀之下町231-1,4

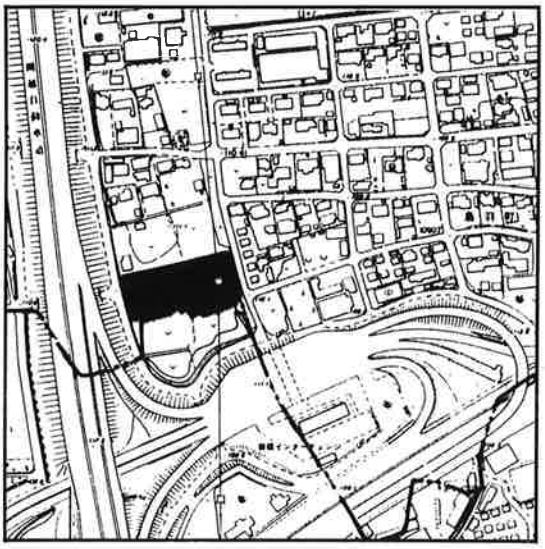


3,410.00㎡　　ガソリンスタンド建築
平成８年８月30日
調査の状況

本開発予定地は、赤城山南斜面の丘陵地帯に位置しており、遺跡の確認される可能性が高い地域であるため、今回の試掘調査を実施しました。

その結果、地表面から約120cmの深さまでは埋土がなされており、その下に旧表土と黒色土がそれぞれ約20cmずつ堆積しており、ローム層へと変わっていきます。南西部で上幅約2.8m・下幅約95cm・深さ130cmほどの堀跡が発見されましたが、出土遺物が無いために所属期間は分かりませんでした。しかし、平成元年に北西方向の開発地を試掘調査した際にも同様な遺構が見つかっているため、一連のものと思われます。字名は「樽街道路上」（たるかいどうみちうえ）で、試掘調査部分については緊急的な記録を作成し、他の部分については現状保存をお願いした。

14　鳥羽町字金尾・清水697-1他



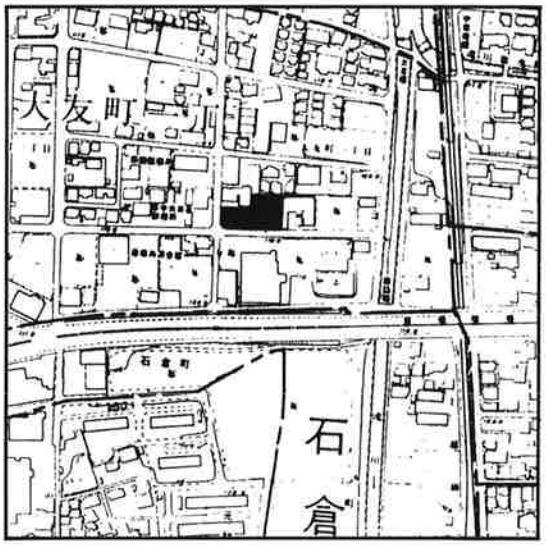
4,429.47㎡　　宅地造成
平成８年９月11日
調査の状況

本開発予定地は、地形区分の上では「前橋・高崎台地」に属しており、関越自動車道の建設に伴う「中尾遺跡」の発掘調査で多くの遺構が発見されている隣接地のため、今回の試掘調査を実施しました。

その結果、地表面から約30cm下は本地域の基礎層となっており、東側に緩く傾斜していました。耕作土の中から土器片が数点出土しましたが、遺構は発見されませんでした。

したがって、本開発予定地は遺跡地とは認められませんでした。

15　大友町一丁目13-4,5



1,297.98㎡　　教会建築
平成８年９月11日
調査の状況

本開発予定地は、地形区分の上では「前橋・高崎台地」に属しており、周辺地域における発掘調査では古代の水田跡が発見されているため、今回の試掘調査を実施しました。

その結果、地表面から約75cm下までは埋土がなされていました。約10cmの厚さの旧耕作土の下には、浅間山が平安時代に噴火した時の火山灰が約５cmの厚さで堆積していましたが、水田を区画するアゼは発見されませんでした。その下は、湿沢地の土壌の様に還元状態の粘質土が続き、多量の湧水がありました。したがって、本開発予定地は遺跡地とは認められませんでした。

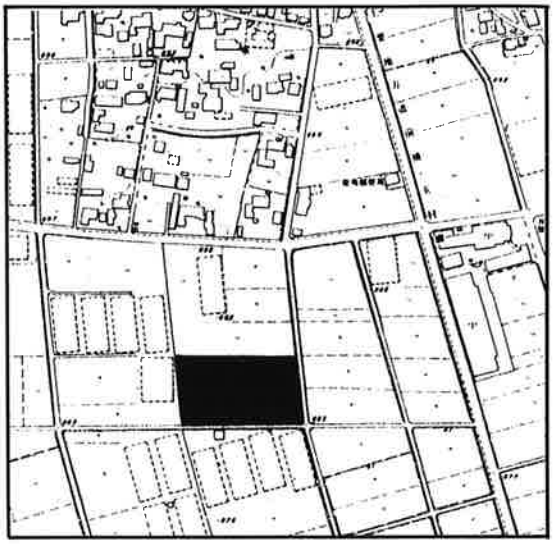
16　西善町610-1他

3,627.00㎡　　農産物加工工場建築
平成８年９月13日
調査の状況

本開発予定地は、地形区分の上では「前橋・高崎台地」に属しており、周辺地域における発掘調査では古代の水田跡が発見されているため、今回の試掘調査を実施しました。

その結果、西側部分では、地表面から約50cm下に浅間山が平安時代に噴火した時の火山灰が５～10cmの厚さで堆積していました。水田を区画するアゼは検出されず、全体的に傾斜しており、湿沢地の様に腐りきらない植物の葉や根を多く含んでいました。また、東側部分はやや高くなっていましたが、耕作土の下は暗褐色の砂質土が堆積しており、遺構は発見できませんでした。

17　上佐鳥町773-1他



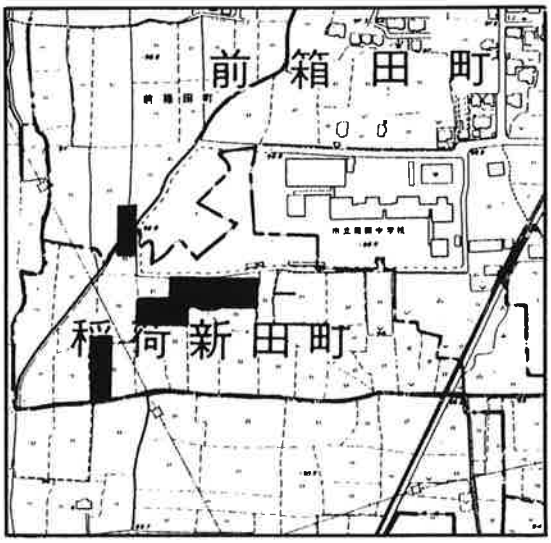
6,297.00㎡　　特別養護老人ホーム建築
平成８年９月13日
調査の状況

本開発予定地は、地形区分の上では「前橋・高崎台地」に属しており、周辺地域における発掘調査では古代の水田跡が発見されているため、今回の試掘調査を実施しました。

その結果、地表面から約30～40cm下に浅間山が平安時代に噴火した時の火山灰が５～10cmの厚さで堆積しており、水田を区画するアゼが埋もれていました。下部遺構の有無を確認するため部分的に深掘りを行ないましたが、湧水もあり発見できませんでした。

現在、保存方法について協議中。

18　箱田町箱田中地区土地区画整理地内18・24街区

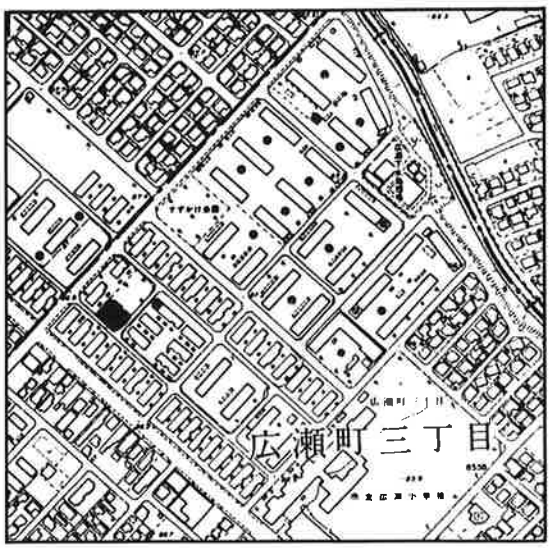


4,264.40㎡　　宅地造成
平成８年９月19日
調査の状況

本開発予定地は、地形区分の上では「前橋・高崎台地」に属しており、市立箱田中学校建設に伴う「前箱田遺跡」の発掘調査で平安時代の水田跡が発見されている隣接地のため、今回の試掘調査を実施しました。

その結果、地表面から約80cm下までは埋土がなされていました。土地改良以前の水田の耕作土から15cmほど下に浅間山が平安時代に噴火した時の火山灰が約10cmの厚さで堆積していましたが、水田を区画するアゼは発見できませんでした。下部遺構の有無を確認するために部分的な深掘りを行なった結果、榛名山が古墳時代に噴火した時の火山灰が点々と残っている部分がありましたが、水田跡の遺構は発見できませんでした。

19　広瀬町三丁目37-41



400.00㎡　　市営住宅建設
平成８年10月11日
調査の状況

平成８年９月に試掘調査を実施した部分に隣接する駐車場に試掘トレンチを設定して、古墳の形状や、規模を確認するために、今回の試掘調査を実施しました。

その結果、本地点では古墳に関するものは検出されませんでした。前回の試掘調査結果と、今後の建物解体時の立ち会い調査で形状・規模を確定して、保存方法について協議を進める予定。

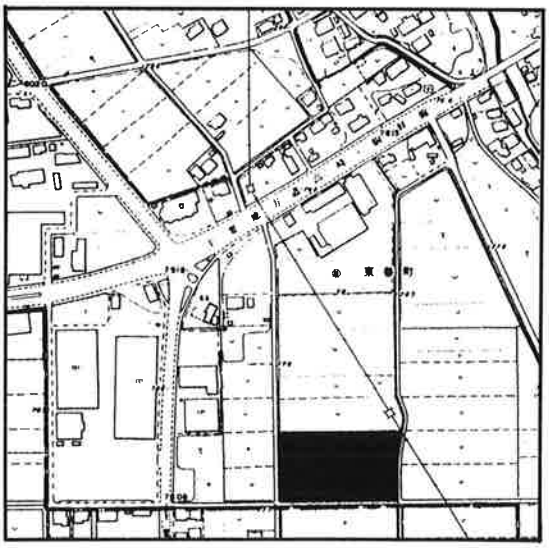
20　東善町地内

649.00㎡　　道路建設
平成８年10月11日
調査の状況

本開発予定地は、平成２年に東善住宅団地造成事業に伴い発掘調査が行なわれた「前田遺跡」の南端に位置しています。区画内に新たな道路建設を行なうために、今回の試掘調査を実施しました。

その結果、奈良・平安時代の住居跡と土地改良事業によって埋められた堰跡が検出されました。浅間山が平安時代に噴火した時の火山灰の堆積が認められず、水田遺構は確認されませんでした。

事業の性格上、現状保存が困難であるとのことで、記録保存実施の方向で協議を行ないました。（平成８年度に発掘調査を実施）



21　江田町字村前19

1,828.00㎡　　アパート建築
平成８年11月19日
調査の状況

本開発予定地は、地形区分の上では「前橋・高崎台地」に属しており、周辺地域における発掘調査では古代の水田跡が発見されているため、今回の試掘調査を実施しました。

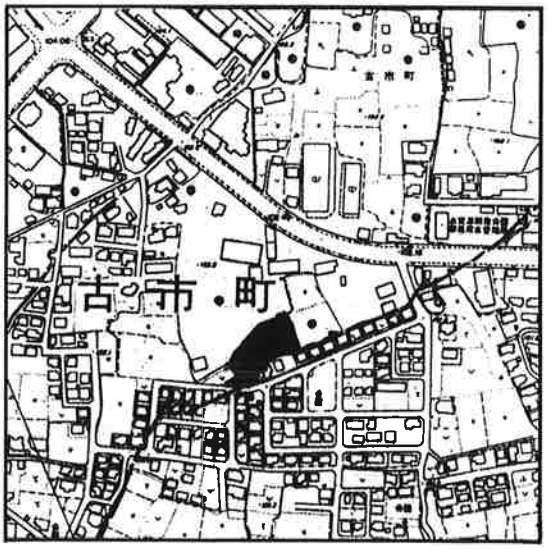
その結果、地表面から約21cm下までは現在の水田の耕作土があり、その下に浅間山が平安時代に噴火した時の火山灰が点々と残っている部分がありました。しかし、水田を区画するアゼは削られてしまったためか発見できませんでした。下部遺構の有無を確認するために、部分的な深掘りを行なった結果、榛名山が古墳時代に噴火した時の火山灰が水に押し流されてきて堆積していました。この下に、茶褐色・灰白色の砂層が続いており、本開発予定地は遺跡地とは認められませんでした。

22　古市町和尚塚3971-12他

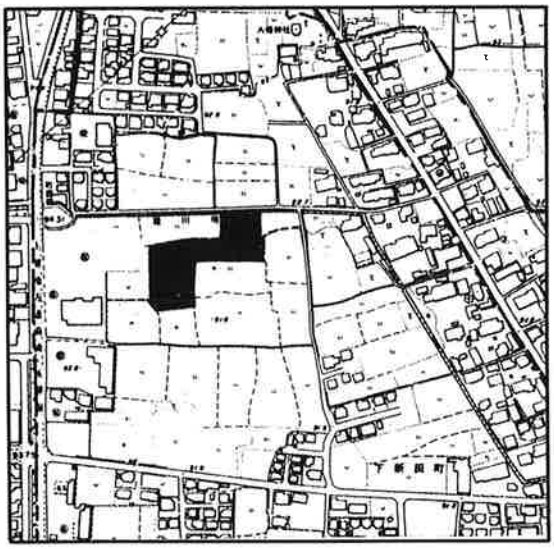
1,832.00㎡　　宅地造成
平成８年11月19日
調査の状況

本開発予定地は、地形区分の上では「前橋・高崎台地」に属しており、周辺地域における発掘調査では古代の水田跡が発見されているため、今回の試掘調査を実施しました。

その結果、地表面から約30cm下までは現在の水田の耕作土があり、その下に茶褐色の粘質土・砂層・黒色粘質土が堆積しており、腐りきらない植物の葉や根がたくさん含まれていました。この結果、本開発予定地は湿沢地の様な状態であり、遺跡地とは認められませんでした。



23　下新田町311-1他



3,843.85㎡　　宅地造成
平成８年11月20日
調査の状況

本開発予定地は、地形区分の上では「前橋・高崎台地」に属しており、周辺地域における発掘調査では古代の水田跡が発見されているため、今回の試掘調査を実施しました。

その結果、地表面から約35～45cm下の位置から浅間山が平安時代に噴火した時の火山灰によって埋まった水田のアゼの遺構が確認されました。下部遺構の有無を確認するために、部分的な深掘りを行ないました。榛名山が古墳時代に噴火した時の火山灰が薄く堆積していましたが、湿沢地の様な状態でした。字名は「中沖」（なかおき）で、試掘調査部分については緊急的な記録を作成し、他の部分については現状保存をお願いした。

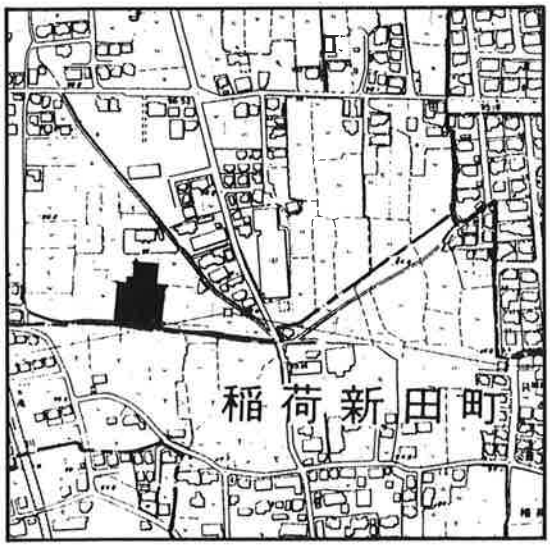
24　下新田町627-1他

1,626.00㎡　　宅地造成
平成８年11月20日
調査の状況

本開発予定地は、地形区分の上では「前橋・高崎台地」に属しており、周辺地域における発掘調査では古代の水田跡が発見されているため、今回の試掘調査を実施しました。

その結果、用水寄りの西側部分は攪乱されていましたが、東側の一部で地表面から約50cm下に砂層によって埋まった畠のウネ状の遺構が確認されました。時期は特定できませんが、50～60cmの間隔で９条並んでいました。字名は「嶋」（しま）で、西側には「砂東」（明治14年には「砂原」か）の字名も残っている。試掘調査部分については緊急的な記録を作成し、他の部分については現存保存をお願いした。

25　箱田町1,265他

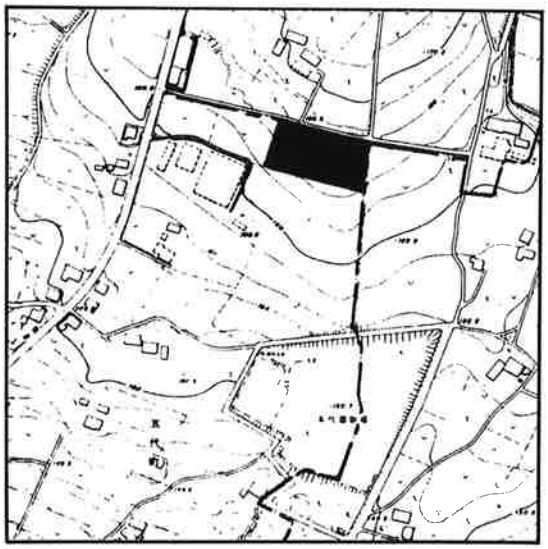


1,691.00㎡　　宅地造成
平成８年11月22日
調査の状況

本開発予定地は、地形区分の上では「前橋・高崎台地」に属しており、周辺地域における発掘調査では古代の水田跡が発見されているため、今回の試掘調査を実施しました。

その結果、地表面から約70cm下に浅間山が平安時代後期に噴火した時の火山灰が10cmほどの厚さで堆積しており、水田遺構の存在が確認されました。下部遺構の有無を確認するために、部分的な深掘りを行ないました。古墳時代に榛名山が噴火した時の火山灰が確認されましたが、湧水のために遺構の有無は確認できませんでした。字名は「張近（はりぢか）」で、試掘調査部分については緊急的な記録を作成し、他の部分については現状保存をお願いした。

26　五代町1,301-3



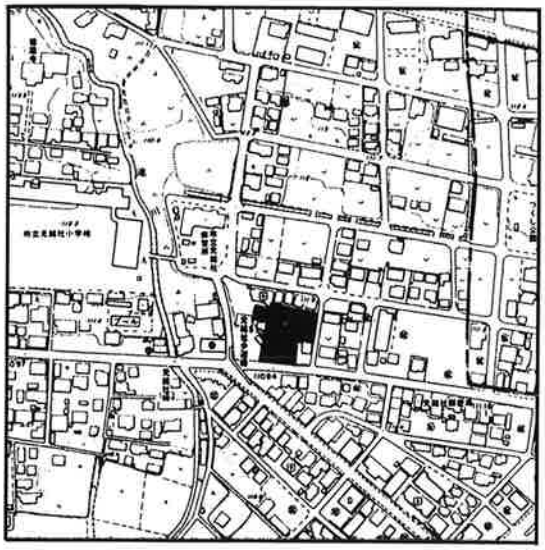
2,919.00㎡　　保育園建築
平成 8 年11月26日
調査の状況

本開発予定地は、赤城山南斜面の丘陵地帯に位置しており、昭和56年に発掘調査が行なわれた「桧峯遺跡」の北東部に隣接しているため、遺跡の範囲確認を目的に今回の試掘調査を実施しました。

その結果、地表面から約30cm下はローム層であり、試掘トレンチの範囲内で古墳時代～奈良・平安時代の竪穴住居跡が11軒確認されました。開発予定地の西隣には浅い開析谷があるため、遺跡の広がりはほぼ今回の試掘調地に収まるものと思われます。

現在、保存方法について協議中。

27　元総社町字寺田100-13他

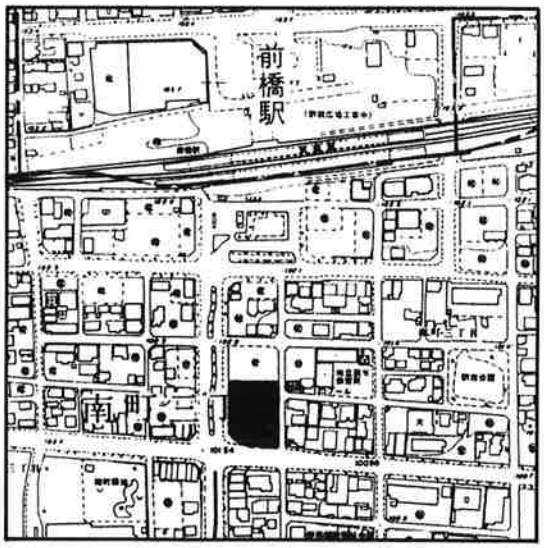


1,707.90㎡　　店舗建築
平成 8 年11月27日
調査の状況

本開発予定地は、古代上野国の中心地である推定国府域内に位置しており周辺における発掘調査でも多くの遺構が見つかっているため、今回の試掘調査を実施しました。

その結果、地表面から125～130cmまでは客土層で、下には暗褐色粘質土が堆積しており、縄文土器と古墳時代前期の土器片が出土しました。遺構の有無を確認するために精査を行ないましたが、遺構は発見できませんでした。地権者の話では、県道工事の際に土採りが行なわれたとのことで、地表面から130~140cm下で本地域の基礎層である「総社砂層」が確認されました。基礎層を掘り込んでいる遺構は発見されず、土器片も水で洗い流された様な状態であることから、本開発予定地に遺構がある可能性は極めて低いと考えられます。

28　南町三丁目35-3他



2,376.49㎡　　事務所建築
平成 8 年12月 2 日
調査の状況

本開発予定地は、地形区分の上では「前橋・高崎台地」に属しており、比較的早くから開発が進められ、周辺の遺跡データが不足しているため、今回の試掘調査を実施しました。

旧城南小学校校庭の南西部分に相当することから、遺跡の残りが良いと考えていましたが、基礎層まで後世の攪乱が及んでおり、遺跡は発見できませんでした。地表面から35～40cmは客土層で、その下部には約150cmの厚さで石炭の燃えカスが埋められていました。前橋駅の周辺にあった池なども同様にして埋められたものと思われます。

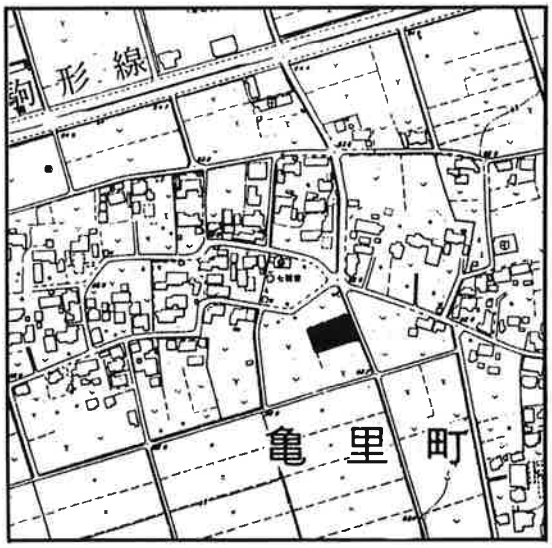
29　亀里町540

330.00㎡　　消防団車庫建築
平成８年12月19日
調査の状況

本開発予定地は、前橋南部に広がる条里水田の想定地域内に位置しています。すでに土地改良事業が実施されており、遺跡の残存状況が地点ごとで異なるため、今回の試掘調査を実施しました。

その結果、現在の地表面から30cmほど下部に、浅間山が平安時代に噴火した時の火山灰がわずかに認められる部分もありましたが、水田を区画するアゼは検出されませんでした。水田土壌と思われる層があることから、後世の耕作により削平を受けたものと考えられます。

地表面から140cmほど下部で砂礫層に達します。



30　鶴光路町59-3他

7,062.00㎡　　下川淵公民館建築
平成８年12月26日
調査の状況

本開発予定地は、前橋市南部に広がる条里水田の想定地域内に位置しており、南西の隣接地では北関東自動車道建設に伴い「横手湯田遺跡」の発掘調査が行なわれています。すでに土地改良事業が実施されており、南側の隣接地では遺構が検出されなかったとのことでしたが、遺跡の残存状況が地点ごとで異なるため、今回の試掘調査を実施しました。

その結果、現在の地表面から25cmほど下部に、浅間山が平安時代に噴火した時の火山灰が９cmほどの厚さで堆積しており、水田を区画するアゼも検出されました。字名は「練引」（ねりびき）で、検出状況からほぼ全域が遺跡地と考えられます。

事業の性格上、現状保存が困難であるとのことで、記録保存の方向で協議を行ないました。（平成８年度に発掘調査を実施）

31　鶴光路町368-3,369-1

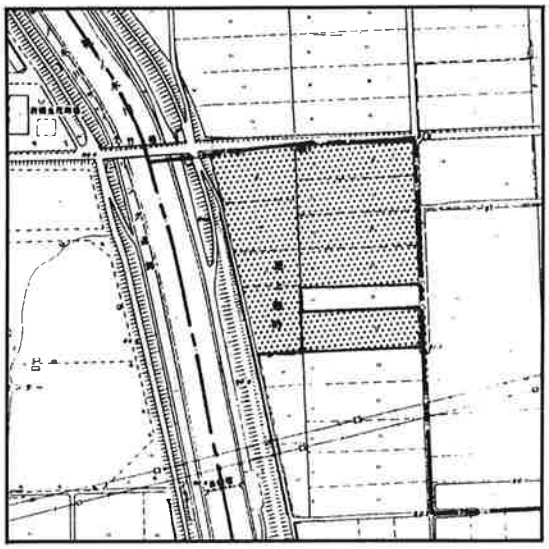
1,658.00㎡　　事務所建築
平成８年１月23日
調査の状況

本開発予定地は、地形区分の上では「前橋・高崎台地」に属しており、周辺では北関東横断道路の建設に伴う試掘調査で遺跡が発見されているため、今回の試掘調査を実施しました。

その結果、南西の一部を除き、土地改良事業の際に基盤層まで削平されてしまったことが確認されました。南西部では、約35cmの表土の下部に、浅間山が平安時代に噴火した時の火山灰が５cmほど堆積しており、水田の耕作土と思われる土壌が確認されました。字名は「伊勢田（いせだ）」。

遺跡部分については現状保存をお願いした。

32　東上野町457-3他



10,000.00㎡　　市立養護学校建設
平成９年１月30・31日
調査の状況

本開発予定地は、地形区分の上では「広瀬川低地帯」に属していますが平成７年に南東側の地点で「石関西築瀬遺跡」の発掘調査が行なわれ、多くの住居跡が調査されているため、今回の試掘調査を実施しました。

その結果、西側部分では砂礫層が厚く堆積しており桃木川の旧流路であったことが確認された。また、東側部分では、浅間山が平安時代に噴火した時の火山灰が堆積している部分が認められたが、水田を区画するアゼは検出されませんでした。土壌観察および下部の状況から、荒れた後背湿地と考えられます。

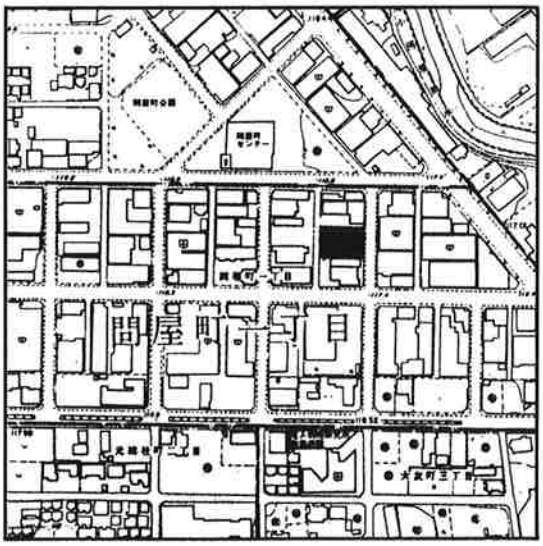
33　西片貝町五丁目28-5他

2,531.66㎡　　事務所・倉庫建築
平成９年２月５日
調査の状況

本開発予定地は、地形区分の上では「広瀬川低地帯」に属していますが、現在の広瀬川の流路からは約250ｍ離れており、遺跡の可能性が皆無でないため、今回の試掘調査を実施しました。

その結果、約30～40cmの表土の下は茶褐色の砂層になっており、地表面から約140cmで砂礫層に達しました。砂層の上部から磁器の小破片が２点出土しており、詳細な時期は特定できませんが近世のものと思われます。したがって、本地域が安定した状態になったのは近世以降のことと考えられます。字名は「西面道上」（にしめんみちうえ）で、昭和40年代までは水田地帯として利用されていました。

34　問屋町一丁目10-2他

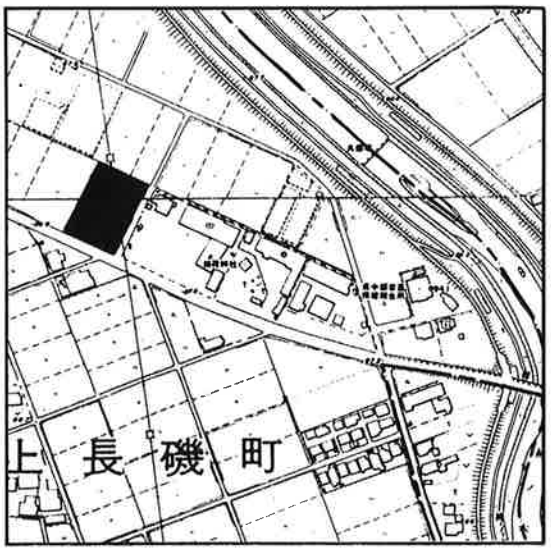


953.22㎡　　事務所建築
平成９年３月３日
調査の状況

本開発予定地は、地形区分の上では「前橋・高崎台地」に属しており、問屋団地造成時に削平を受けていますが、遺構が残っている可能性がありますので、今回の試掘調査を実施しました。

その結果、北東部の大半は以前に建っていた建物の基礎を撤去した際の攪乱が基盤層まで及んでいました。西側の一部で、幅約１ｍ・深さ約45cmの溝跡が検出されましたが、所属時期を明らかにすることはできませんでした。字名は「稲荷塚前」（いなりづかまえ）で、建築予定位置を考慮していただくよう協議を行ないました。

35　上長磯町304-1

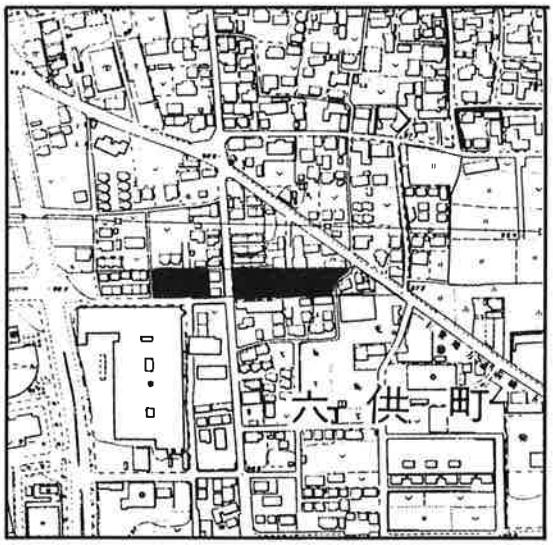


2,959.00㎡　　ドライブイン建設
平成９年２月21日
調査の状況

本開発予定地は、地形区分の上では「広瀬川低地帯」に属しておりますが付近で国道50号の拡幅に伴い「野中天神遺跡」の発掘調査が行なわれているため、今回の試掘調査を実施しました。

その結果、土地改良事業前の耕作に伴う溝跡が検出され、陶磁器の破片が数点出土しましたが、その他の遺構は発見されませんでした。全体的に砂質土壌で、桃木川の氾濫原であったと思われます。

36　六供町地内



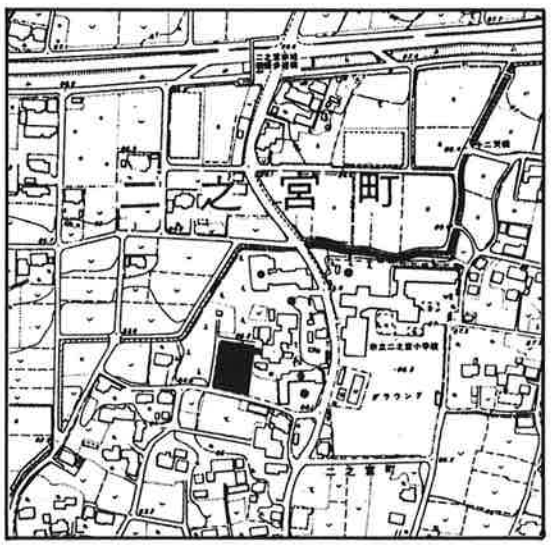
7,950㎡　　区画整理事業
平成９年３月６日
調査の状況

本開発予定地は、地形区分の上では「前橋・高崎台地」に属しており遺跡の多い地域として知られているため、今回の試掘調査を実施しました。

その結果、建物移転部分は解体時の攪乱がありましたが、ほぼ全域から古墳時代～平安時代の住居跡が検出されました。西側部分は地表面から約45cmほどで遺構が確認され、東側の一部では、約30cmほどの盛り土層が見られる部分がありましたが、攪乱を受けていない部分では住居跡が発見されました。両端部では遺構の密度がやや低くなるように思われます。

事業の性格上、現状保存が困難であるとのことで、記録保存の方向で協議を行ないました。（平成９年度以降に発掘調査実施予定）

37　二之宮町1810-1



2,431.00㎡　　保育園建築
平成９年３月７日
調査の状況

本開発予定地は、赤城山南麓の端に位置しており、遺跡の多い地域として知られており、周辺でも多くの遺跡の発掘調査が行なわれているため、今回の試掘調査を実施しました。　その結果、本開発予定地は、従来考えられていたものと異なり、宮川の東側を流れる河川によって運ばれた砂壌土によって形成されたものであることが確認されました。

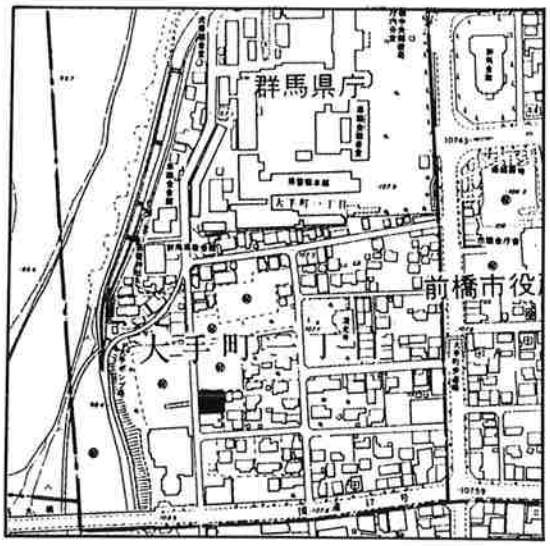
38　箱田町1590他

1,800㎡　　道路改良事業
平成９年３月18日
調査の状況

本開発予定地は、前橋市南部に広がる条里水田の想定地域内に位置しており、本年度に発掘調査が行なわれた「稲荷遺跡」の近接地に当たるため、今回の試掘調査を実施しました。

その結果、住宅地として利用されてきたためか、撹乱を受けている部分が多く、遺構は検出されませんでした。なお、遺物の出土も見られなかったことから集落跡の可能性も極めて低いと考えられる。

39　大手町125-1



425.75㎡　　駐車場造成
平成９年３月26日
調査の状況

本開発予定地は、前橋城域内に位置しており、武家屋敷の所在地に該当するため、今回の試掘調査を実施しました。

その結果、戦災復興時点で削平を受けたと思われ、遺構・遺物ともに検出されませんでした。

4 号　富田町（富田稲荷前遺跡）

6 号　鳥羽町

写真図版 2

7 号　上長磯町

8 号　嶺町

9 号　鳥取町（鳥取地区遺跡群）

9 号　鳥取町（鳥取地区遺跡群）

写真図版 4

10号　今井町

11号　大手町

12号　広瀬町三丁目（鶴巻山古墳）

13号　堀之下町（溝跡）

写真図版 6

14号　鳥羽町

15号　西善町

18号　箱田町

20号　東善町（前田遺跡群）

写真図版 8

30号　鶴光路町（鶴光路練引遺跡）

31号　鶴光路町

平成８年度　市内遺跡発掘調査報告書

平成９年３月28日印刷
平成９年３月31日発行
発　行　前橋市教育委員会文化財保護課
前橋市上泉町６６４－４
☎０２７－２３１－９５３１

1-10
201
13